



総合質管理(TQM)部ニュース

2025年5月号(第22号)



今月は、緩和ケア課とがん化学療法課の紹介です

緩和ケア課

終末期がん患者さんの時間性のスピリチュアルペインのアセスメントです。

【終末期の良い QOL の状態】

人生を全うできる・伝えたいことが伝えられる
病気や死を意識しないで過ごせる・希望や楽しみがある

具体的に、以下のように感じていると QOL は良い状態

◆ 世代継承性

自分にとって大切なことが引き継がれ、記憶され、
死後も継続されると感じる(継続を願う)

◆ 死の不安

死の不安への自分なりの取り組み
受け入れる、否認する、諦める、闘う

◆ 希望

希望を持ってると感じる
回復、より良い QOL、具体的な目標の達成

◆ 意味づけ

将来何か良いことが起きるのではないかという
漠然とした期待



【時間性のスピリチュアルペイン】

重要なことが未完成・死の受け入れ
心の準備・希望のなさ

以下のように感じているとスピリチュアルペインがあると判断

- 心残り：やり残したこと、将来を見届けられないことに対する辛さがある
- 希望のなさ：希望が見いだせないこと
- 死の不安：死に対する恐れや死んだらどうなるのかという不安
- 身辺整理に：遺言や葬儀の心配、伝えておきたい事に関する気がかり 残しておきたい事柄がある
- 人生の不条理：「なぜ、自分がこんなことに」という不公平感や納得のいかなさがある

(文責) 緩和ケア認定看護師 新川 恵美

がん化学療法課

アルツハイマー病新規治療薬レカネマブ(レケンビ®)について①

レカネマブ(レケンビ®)

「アルツハイマー病による軽度認知障害(MCI)」と「アルツハイマー病による軽度の認知症」に対する薬剤です

アルツハイマー病とは

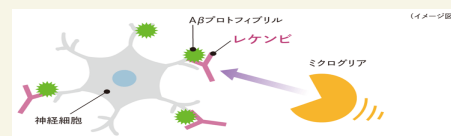
長い時間をかけて少しずつ進行する

レケンビ®は原因物質であるアミロイドβを脳から排除することで認知機能障害の進行を遅らせる薬剤です。

アミロイドベータの沈着
神経細胞の外にアミロイドβ
がくっつきあって沈着する

神経原線維変化
タウ蛋白が過剰にリン酸化されて神経細胞内に蓄積し、
繊維のような構造をとる

進行性の認知機能低下を
引き起こす



投与対象となる方

- ・認知機能低下が軽度であること
MMSE(簡易認知機能尺度)が22点以上
CDR(臨床認知症尺度)で0.5または1
- ・アルツハイマー病であること
脳髄液検査やアミロイドPET検査でアミロイドβの蓄積が確認されていること
- ・脳MRI検査が実施可能で、脳浮腫や脳出血などの所見がないこと等があります

(文責) がん化学療法看護認定看護師 佐藤 絵美